

社会福祉法人 長野市社会事業協会事業報告書

(事務局)

国家財政の健全化に加え、少子高齢化が一層進行するなかで社会保障・社会福祉制度の再構築が喫緊の課題として掲げられ、社会保障制度改革では、医療、介護料保険制度の効率化と重点化、子ども・子育て新システムの創設、さらに障害者自立支援法に替わる障害者総合支援法（仮称）制度に向けた議論等、社会福祉法人経営に直接関係する大きな制度改革が行われようとしている状況の中で、利用者本位のニーズに即した良質なサービスを安定的な経営の下、継続的に提供する為に、中長期総合計画（魅力ある福祉サービスを創造する）の年度計画に沿った、人材育成、事業部制移行準備、経営計画に基づく積立などを行った。運営状況については、入所系の事業所で91.8%の利用率、通所系の事業所で76.0%の利用率を確保し、福祉事業活動収入で前年度比2.46%の65,135,450円増収となった。

平成23年度の重点事業として掲げた3つのうち、一つ目の「小田切園移転新築に伴う施設整備及びグループホーム、ケアホームの整備」については、日中活動の場としての施設建設は平成24年3月末の竣工を予定していたが、東日本大震災等の影響もあり、国の補助金の内示が大幅に遅れたことに伴い、平成24年6月末の竣工を目指すこととなった。また、グループホーム等の整備については、法人で国の補助金を充て建設したホーム1か所、民間の借家及び公営住宅を借り上げて整備したホーム4か所の計5か所（定員29名）を確保し、自活訓練等を行いながら、平成24年3月より25名が地域での生活を始めた。また、ひかり学園へ11名、高齢者施設へ2名が入所し、1名が自宅での生活を始め、小田切園利用者全員の移行が円滑に行われた。二つ目の「中長期総合計画に基づく事業部制移行に向けた体制作り及び年度計画の実行」については、事業部制移行に伴う諸規程の改正等を行い、平成24年度からの移行に向け準備を進めた。三つ目の「管理職、中堅職員の指導者養成と研修の充実」については、人材育成プログラム推進体系を明確にし、職階別（管理職、指導監督職、中堅職員、新任職員）研修を行い、専門性の確保と求められる資質の向上を図った。研修については、法人の研修計画に基づいた内部研修を行いながら、外部機関の専門研修にも積極的に参加し専門性を高めると共に協会内へ伝達研修を行い、職員全体の専門性の確保に努めた。また、積極的な資格取得のための自己啓発支援制度により、精神保健福祉士、介護福祉士等、合計12名がこの制度を利用して資格を取得し、法人全体のレベルアップの一助となった。

障害者自立支援法に基づく新事業への移行については、はなみずきと長野市ハーモニー桃の郷（精神授産）が平成23年4月から新体系での事業を開始した。また、平成24年4月からの移行に向けて「小田切園」「長野市ひかり学園」では、所要の準備を行った。

移転改築計画がある児童発達支援センター（仮称）については、移転場所を確保し、地元説明会を開催し理解を得ると共に施設整備補助金の申請を行う等関係機関と連携を図りながら、建設計画に基づき事業を進めた。

施設における事故防止、サービスの質の確保の観点からリスクマネジメント委員会を立ち上げる等、目的別の各委員会（13委員会）を組織し施設運営の充実に努めた。

施設整備の主なものは、長野市ひかり学園で外出を確認するシステムの見直しを行い事故防止に万全を期した。また、ほほえみで県の基盤整備補助金により食堂の床の改修工事を行い生活環境の改善を図った。

全施設を一冊にまとめたパンフレットやホームページの立ち上げを行い、情報の提供に努めた。

1 事務局の所在地

長野市大字鶴賀字苗間平 1714 番地 5 TEL 226-7800
 FAX 226-8214

2 役員(平成 24 年 3 月 31 日現在)

(1) 理事 (定数 9 名 現員 9 名)

理事長 酒井 登
 副理事長 芝波田 利直
 兼常務理事
 理事 立岩 睦 秀 伊藤 篤 志 古澤 明 雄
 衿津 栄 喜 池田 宏 佐藤 文 雄
 小林 元 志

(2) 監事 (定数 2 名 現員 2 名)

町田 勇 小林 昭 人

(3) 顧問 鷲澤 正 一

(4) 参与 寺田 裕 明

(5) 評議員 (定数 19 名 現員 19 名)

小林 義 和 池田 清 藤澤 秀 行
 酒井 昌 之 黒岩 秀 文 徳武 良 彦
 田野口 紘 二 滝沢 勝 雄 番場 敏 次
 宮原 清 子 中澤 敏 子 西澤 定 男
 中村 幸 子 北澤 幸 男 小林 晃 介
 傳田 恭 司 塚田 なおみ 小林 新 二
 宮下 由美子

3 諸会議

(1) 理事会

開催年月日	開催場所	議決事項
平成 23 年 5 月 27 日	長野市 ふれあい 福祉セン ター	議案第 1 号 平成 22 年度事業報告及び決算について 2 号 平成 23 年度移行期首貸借対照表について 3 号 定款の一部改正について 4 号 就業規則の一部改正について 報告第 1.2.3 号 平成 22 年度資金収支補正予算について 4 号 積立金の積立及び取崩しについて 5 号 参与の選任について 6.7 号 評議員の選任について
平成 23 年 12 月 15 日	いわ苑	議案 5 号 平成 23 年度資金収支補正予算について 6 号 給与規程の一部改正について 7 号 ほっとらいふ運営規程の一部改正について 8 号 小田切園の財産について 報告 8 号 評議員の選任について 9 号 平成 23 年度資金収支補正予算について 10 号 理事の選任について 11 号 評議員の選任について 12.13.14 号 平成 23 年度資金収支補正予算について

開催年月日	開催場所	議 決 事 項
平成 24 年 3 月 22 日	長野市 ふれあい 福祉セン ター	<p>議案第 10 号 平成 24 年度事業計画及び資金収支予算 について</p> <p>11 号 児童発達支援センターの建設に伴う積立金 の使用について</p> <p>12 号 定款の一部改正について</p> <p>13 号 事務局組織規程の一部改正について</p> <p>14 号 事務専決規程の一部改正について</p> <p>15 号 処務規定の一部改正について</p> <p>16 号 職名規程の一部改正について</p> <p>17 号 経理規程の一部改正について</p> <p>18 号 就業規則の一部改正について</p> <p>19～21 号 運営規程の一部改正について (長野市美和荘、ほっとらいふ、ほっとらい ふステーション桃の郷)</p> <p>22～39 号 運営規程の制定について (三輪学園児童発達支援センター、三輪学園 放課後等デイサービス、三輪学園保育所等訪 問支援、三輪学園特定相談支援、三輪学園障 害児相談支援、長野市愛の樹園児童発達支援、 長野市愛の樹園放課後等デイサービス、長野 市愛の樹園保育所等訪問支援、長野市篠ノ井 愛の樹園児童発達支援事業、長野市篠ノ井愛 の樹園放課後等デイサービス、長野市篠ノ井 愛の樹園保育所等訪問支援、ほっとらいふ相 談室桃の郷障害児相談支援、ほっとらいふ相 談室桃の郷特定相談支援、ほっとらいふ相談 室桃の郷一般相談、小田切園就労継続支援 B 型、長野市ひかり学園障害者支援施設、長野 市ひかり学園短期入所、長野市ハーモニー桃 の郷びあぼーと)</p> <p>40 号 評議員の選任について</p> <p>41 号 施設長の任免について</p> <p>報告第 15 号 平成 23 年度資金収支補正予算について</p> <p>16 号 理事の選任について</p>

(2) 監事会

開催年月日	開催場所	議 決 事 項
平成 23 年 5 月 17 日	長野市 ふれあい 福祉セン ター	<p>平成 22 年度事業執行状況について</p> <p>平成 22 年度決算について</p> <p>平成 22 年度財産状況について</p>

(3) 評議員会

開催年月日	開催場所	議 決 事 項
平成 23 年 5 月 27 日	長野市 ふれあい 福祉セン ター	議案第 1 号 平成 22 年度事業報告及び決算について 2 号 平成 23 年度移行期首貸借対照表について 3 号 定款の一部改正について 報告第 1.2.3 号 平成 22 年度資金収支補正予算について 4 号 積立金の積立及び取崩しについて 5 号 参与の選任について 6.7 号 評議員の選任について
平成 23 年 12 月 15 日	いつわ苑	議案第 4 号 平成 23 年度資金収支補正予算について 5 号 小田切園の財産について 報告第 8 号 評議員の選任について 9 号 平成 23 年度資金収支補正予算について 10 号 理事の選任について 11 号 評議員の選任について 12.13.14 号 平成 23 年度資金収支補正予算について
平成 24 年 3 月 22 日	長野市 ふれあい 福祉セン ター	議案第 7 号 平成 24 年度事業計画及び資金収支予算 について 8 号 児童発達支援センターの建設に伴う積立金の 使用について 9 号 定款の一部改正について 10 号 理事の選任について 報告第 15 号 平成 23 年度資金収支補正予算について

(4) 管理職会

施設運営の向上を期し、2ヶ月に1回会議を開催し、各施設の運営等について協議、検討をするとともに事務連絡を行った。

4 諸委員会

委員会名	回数/年	主 な 協 議 内 容
経営企画検討委員会	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の運営方針について ・ 中長期総合計画に基づく事業部制移行について ・ 諸規程について ・ 職員採用計画について ・ 職員希望調書(自己申告)について ・ 法人組織について ・ 自立支援法に基づく新体系移行施設について
人材育成担当者会議	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修計画について ・ 研修体系について ・ 自己啓発支援制度について ・ 職員研修履歴について

委員会名	回数/年	主 な 協 議 内 容
財務担当者会議	23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算、決算、補正予算について ・ 資産運用について ・ 新会計基準について ・ 事業部制導入に伴う事務処理方法について
職員安全衛生委員会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画について ・ 職場巡視による労働安全衛生点検実施 ・ 心の健康づくり計画について ・ メンタルヘルス研修会 ・ 職員健康診断について
給与関係小委員会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給与、手当等について
研修推進委員会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修計画について ・ 職階別研修の実施
授産活性化委員会	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託作業内容について ・ イベント販売について ・ 協会内の食の内需について
グループホーム検討委員会	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム建設計画について ・ 利用者の状況及び入居計画について ・ 組織、バックアップ体制について ・ 緊急マニュアルについて ・ 世話人研修について
ホームページ運用委員会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ管理者、作成者の確認 ・ 各施設のホームページ作成支援及びホームページのアップロード ・ ホームページ更新に関すること ・ 全事業所が開設（リニューアルも含む）
リスクマネジメント推進委員会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメント実施規程の制定について ・ 災害時における設備等の状況調査について ・ 事故・ヒヤリハットの運用方法について ・ サービスの質の向上とリスクマネジメント研修
発達総合支援センター開設準備委員会（全体会）	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設説明会の開催について ・ 建設場所について ・ 基本計画について
パンフレット作成作業部会	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人全体のパンフレット作成について（3月に完成し、各施設、法人役員に配布）
就労移行事業あり方検討委員会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労移行事業について現状の確認 ・ 就労移行事業所の活動プログラム ・ 障害者雇用について

5 苦情解決結果（法人全体）

苦情の件数	苦 情 の 内 容	結 果
21 件	1 施設運営に関すること 1 件	1 解決済み 18 件
	2 施設設備等に関すること 3 件	
	3 職員の資質に関すること 7 件	2 継続中 3 件
	4 施設生活に関すること 8 件	
	① 介護・介助・支援 6 件	3 1の内、県福祉サービス 適正化委員会でも、取扱 いされたもの
	② 食事 1 件	
	③ 入浴 1 件	
	④ 利用者間の人間関係 1 件	
	⑤ その他 1 件	
	5 その他 2 件	1 件

22 年度苦情件数	20 件	1 施設運営に関すること	1 件
	(解決済み 19 件)	2 施設設備等に関すること	2 件
	(継続中 1 件)	3 職員の資質に関すること	5 件
		4 施設生活に関すること	12 件
		5 その他	0 件

6 事務局職員数

職 種	事務局長	事務局次長	庶務係長	書 記	計
職員数 (人)	1	2	1	4	8

※事務局次長のうち 1 名は長野授産所所長、庶務係長は三輪学園園長を兼務している。

※上記以外の兼務職員：経営企画検討委員 7 人、人材育成担当 5 人、財務担当 6 人

7 その他

(1) 自己啓発支援制度（職員の資質向上を図る）

国家資格等の合格者に対し、資格取得一時金を支給した。

精神保健福祉士 1 名、介護福祉士 5 名、介護支援専門員 5 名、社会福祉主事 1 名

総額 630,000 円

(2) 施設利用者表彰制度

法人の施設、事業所を利用する利用者が技能、スポーツ芸術等の分野で優秀な成績を納めたことを讃えた。

① 長野県障害者技能競技大会（データベース部門）において優秀賞を獲得し、第 33 回全国障害者技能競技大会（通称アビリンピック 2012）へ県代表として出場予定。

② 2012 年第 5 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島大会（スノーシューの部）において金メダルを獲得。